

会山行 No.2453

奥秩父：飛竜山・雲取山

◆日程 2023年11月3日（金祝）～5日（日）

◆メンバー L：TY、SDK、KT、HK、NS、KM

今期の無雪期登山の締めくくりとして奥秩父縦走を計画した。新人メンバーも参加してくれて新鮮で楽しい3日間となった。テント・食料を背負っての縦走は山登りの原点を再発見させてくれた。今後も縦走をベースに幅広く山を楽しみたい。（記：TY）

11月3日（金） 天候：晴れ

当日は晴天。紅葉観光に最適の日だったこともあり、5時30分横浜駅発の電車にも関わらず、塩山駅まで座れず通勤ラッシュならぬ紅葉観光ラッシュ。塩山駅到着時にはすでにくたくた。今回乗車するバスは、途中で大菩薩嶺（百名山）登山口を經由の為、こちらも乗場は大行列。乗車できない登山客もおり臨時便が用意される状況。運よくメンバーは座ることができたが、登山前に紅葉シーズンの洗礼を恰好だ。



さて今回の山行は、2名の新人が初の縦走デビュー。1名は40リットルのバックの半分しか荷物を用意しておらずマット不携帯および昼は非常食のみの持参と明らかに準備不足。片やもう1名は電気シェーバー・1.5リットルの水・大型のランタン・缶ビール6～7本持参等と70リットルのバックに荷物が入りきらず明らかに過剰な準備。どちらもリーダーの指示書を勝手に自己都合で解釈し経験不足を露呈する。今後デビューされる方は、ぜひ事前にリーダーへ詳細まで確認することを推奨する。

不安を抱える中、当初より13分遅れで山行開始。落合バス停から牛王院下手前までのルートは笠取山へ抜ける車道となっており、紅葉狩りの観光客の車が往来。周辺にキャンプ場も点在しており車だけ注意すれば良いかと思っていたが、通行中の運送ドライバーから数日前に何回か熊出没したので注意するようアドバイスを頂く。このルートはクルマとクマに要注意。牛王院下から将監小屋までの行程は林道のため車の往来はなく、初日は登山というよりハイキング。この時期にはお勧めの紅葉狩りを満喫するルートだった。

出発前は新人2名の用意不足で不安もあったが、予定どおり将監小屋に到着。15時半過ぎから新人歓迎懇親会（宴）19時に就寝。1日目は順調に過ごせたと思っていたが、翌々日に山の会の問合せメールにもうテントではもう少し静かに過ごすよう一般客からクレームの書き込みが・・・テントには山の会の名前が記載されており、看板を背負っていることを自覚。早い就寝とは言え、個人山行の方の中には静けさを求めテント泊する方もいるので、明るい時間とは言え周りへの配慮が必要と猛省の1日目となった。

（記：KM）

CT：落合バス停 9:43 - 新犬切峠 11:18 - 牛王院下 12:49 - 将監小屋 14:11

11月4日(土) 天候：晴れ



約25年ぶりの山で泊まる山行なのに、初日に皆さんのペースについていけなかったのですが、テントでの楽しい夕食で体力も戻りました。ただ、19時就寝はなかなか寝付けず、少し苦勞しました。

さて2日目も、非常に好天に恵まれました。この連休中は気温も高く、この日も10℃近い朝となりました。テント場の将監小屋は1740mでそこから1850mまで登ったところで、長袖シャツを脱ぎ、汗かきの私はその後半袖で行動しました。

1850mまで上がった後は、大ダルまでほぼ高低差がなく、なだらかだった上に、

TYリーダーがゆっくり歩いてくださったので、快適に進みました。標高2010mほどのところにある禿山は2日目一番の眺望となりました。富士山や奥秩父の山脈を一望できました。富士山の8合目以上には着雪しており、とてもきれいに見えました。その後、右側が急斜面となるところをややトラバース気味に歩き、北天のタル、三ツ山を過ぎ、最後の坂の前の三条ダルミで休憩後に東京都最高峰雲取山の登りになりました。雲取山避難小屋につくとSD会長とTYリーダーの配慮によりこの日は避難小屋で泊まることとなりました。小屋に到着後、水と飲み物を調達する2名を選出するためのあみだくじを行い、TYリーダーとHKさんに決定しました。

その後、避難小屋からすぐにある雲取山に登り全員で記念撮影を行い、2日目の夜を迎えます。この夜は小屋ということもあり、とても快適に過ごせ、小屋で購入したビールで乾杯しながら楽しい夕食を済ませ、19時就寝となりました。

この日は終始TYリーダーがゆっくり歩いてくださり、休憩も多く、長めに取ってくれたため、山行にも余裕が持てました。また、SD会長の機転であみだくじをしたり、夕食時も楽しく過ごせて感謝しています。



(記：NS)

CT:将監小屋 5:44 - 禿岩 8:55 - 北天のタル 10:13 - 三条タルミ 12:42 - 雲取避難小屋 13:32

11月5日(日) 天候：曇り時々晴れ

夜明け前、雲取山荘に向かう道では山頂でのご来光を目当てに登山者が次々と上ってきた。山荘に着くと出発準備をする人で賑わっていた。沢やか水(気分は10才若くなるのだ!と書いてある)を補給して賑わいの中に身を置いているとすっかり明るくなった。

大ダワまでは男坂と女坂に分かれていて男坂を進む。芋の木ドッケまでは登り返しが急で木の階段を何段も昇った。白岩山を過ぎ白岩小屋は廃屋になっていたが、裏手にベンチがあり曇ってはいたが眺望が楽しめた。前白岩の肩からお清平までは急勾配の道を下ったが霧藻ヶ峰までの上りは紅葉が綺麗だった。霧藻ヶ峰は秩父宮様が名付けたようで、ご夫妻の大きなレリーフが岩に埋め込まれていた。

1日目、2日目と高低差が比較的少ないコースだったが、3日目の今日はアップダウンが続き、稜線を歩いたりトラバースしたり変化に富んだコースだったので楽しむことができた。

また休憩時には地形図を見ながら位置確認をしたり、地形と地図を見比べたりと地図読みの勉強もさせてもらった。

地藏峠、二股檜、炭焼平と案内標識や説明板、ベンチなどがありよく整備された登山道を下り、妙法ヶ山(白岩山、雲取山とで三峰山、信仰の対象になっている)に向かう三峯神社奥宮三之鳥居を右手に見て進むと石でできた奥宮二之鳥居が現れる。登山届はここに出すようで登山道はここで終わり。参道を歩くとすぐに観光客で溢れる三峯神社に到着した。

紅葉が見頃で素晴らしい神社に山行が無事行われたことを感謝し、全員で参拝をした。

山の会に入会して1年、両神山の避難小屋で初めてシュラフで寝てから、1泊、2泊とテント泊を経験させていただき、今回ようやく縦走装備で3日間を歩くことができました。

コースやタイム設定などリーダーのご配慮に心から感謝すると共にご一緒いただいた皆さんありがとうございました。



(記：HK)

CT: 雲取山避難小屋 5:20 - 白岩山 7:30 - 霧藻ヶ峰 9:30 - 三峯神社 11:00